

# 小石だより



令和6年7月9日 (文責) 校長 牛尾 直樹

## 学校教育目標

美しい心にあふれ、かしこく、たくましく生きる子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

- <こ> 向上心にあふれる、たくましい子ども
- <い> いつも明るく、美しい心の子ども
- <し> しっかり学び、かしこい子ども

## 熱中症に注意!



近年、全国的に気温が上昇し、特に夏場においては異常な高温が続くことが予想されます。そこで心配されるのが「熱中症」です。熱中症にかかったことのある方はお分かりのことだと思いますが、決して軽く見てはいけません。毎年のように死者も

出る、実に恐ろしい病気だといえます。

「夏が暑いのは当たり前」「今の子は体が弱い」などという無責任な発言を時たま目にしますが、総じて的外れだといえるでしょう。まず、一年間の平均気温は、50年前に比べて確実に高くなっています。

気象庁の月ごとの平均気温の記録によると、

	6月	7月
1974年	19.3℃	21.9℃
2023年	23.2℃	28.7℃

というように、大幅に上昇していることがわかります。

結論から言うと、かつての日本の夏ではなくなっている…ということです。直射日光の当たらない室内なら大丈夫かと言われるれば決してそうではなく、室内にいても熱中症にかかってしまう方は毎年多く、冷房は必須…というのが、専門家の主張です。

北九州市では環境省のWBGT(暑さ指数)をもとに、

35以上	熱中症特別警戒アラート発令
33以上	熱中症警戒アラート発令
31以上	危険(活動を原則中止)
28~31	嚴重警戒(激しい運動は中止)

と定め、朝7時の八幡での警戒指数予測値が33以上の場合、空調施設のない場所での活動・授業を中止することになっています。

さらに、学校に熱中症指数計を配備し、アラートが発令されているのに関わらず、活動場所において計測し、活動の在り方を考慮しています。可哀そうなことですが、そのせいでお昼休みに運動場では遊べない…という事態も招いていますが、命を守るためののだということを、子供たちには伝えています。地球温暖化の影響なのか、はたまた他の要因なの

かははっきりとわかっていませんが、危険な夏である限り、子供たちの命や健康を最優先して活動を行ってまいります。

また、もうじき夏休みですが、子供たちだけで夏休みに自宅で過ごす際にも、熱中症を引き起こす要因として、気温や湿度の高さ、日差しの強さ、締め切った部屋でエアコンがないなどの気候や環境の状況、また、栄養低下時、下痢やインフルエンザ等における脱水症状、寝不足などの体調不良、さらに、激しい運動や慣れない運動、長時間の屋外作業や活動に十分気を付けるようお願いください。そして、万が一の時はどうするか(経口補水液等の摂取、場合によっては119番通報)などについても、話し合いをなさっておいてください。

## 水泳学習と水難事故防止訓練

本校では今年も水泳学習を実施しています。プールサイドからは、入水するときの子供たちの歓声が響き、安全に楽しく学習を進めているところです。以前と比べて、プールを利用した学習活動の時間は、かなり少なくなってきましたが、それでも単に泳力を伸ばすためだけでなく、水中で自分の身を守る力も身につけることをねらって学習を進めています。

実はこのたび、若松区消防署の職員の方による、「水難事故防止教室」を実施する運びとなりました。昨年夏、宮若市で起きた小学6年生女児3名の水難死亡事故を受け、二度と子供たちをそうした目に合わせないために、水難事故防止の座学、そしてプールでの実技を通して、身を守る術を学ばせようということになりました。今年度の対象は5・6年生ですが、今後もしも継続していきたいと考えています。

開催日時は、令和6年7月10日(水)3・4校時、場所は多目的教室とプールです。雨天時は座学の実施になる予定です。



## 7月の主な行事予定

- 16(火) 給食後下校(13:30頃下校)  
個人懇談①
- 17(水) 給食後下校(13:30頃下校)  
個人懇談②
- 18(木) 給食終了
- 19(金) 終業式(11:45頃下校)